

## 令和元年度茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会5月定例会議事録

- 1 日 時 令和元年5月8日(水)午後2時15分～午後4時10分
- 2 場 所 市役所本庁舎4階 会議室1
- 3 出席者 後藤会長、細田副会長、植松副会長、和田会計、弓達監事、矢野監事  
関野保、河内昇、篠原徳守、林正明、真野宗直、三觜健一、林申次、  
高山和茂、岩壁榮、松本楯臣、小山明、滝本誠、新倉昭人、雫石剛、  
前田積、青木三郎、小嶋政雄、小野寺昌成、永澤鐵男の各委員  
病院総務課(松岡課長)、施設再編整備課(鈴木課長外1名)、スポーツ推  
進課、男女共同参画課(仲手川課長、多賀谷課長外1名)、防災対策課(岩  
井課長外2名)、消防総務課(村田次長外1名)  
市民自治推進課(富田課長、木村課長補佐、伊藤課長補佐、小松課長補佐、  
窪田副主査)  
事務局(山田、長野)

### 4 会議の経過

(1) 開 会 細田副会長

(2) あいさつ 後藤会長

(3) 議 題

#### ① 各種審議会等委員の推薦について

資料に基づき本年度委員が変わった地区について、規定に基づき次の通り推薦することになった。

10 社会福祉協議会評議員 高梨勇湘南地区委員→高山和茂湘南地区委員

11 共同募金会茅ヶ崎市支会委員 湘北地区 茂木信男委員→小野寺昌成委員

13 行政改革推進委員会委員 鶴嶺西地区 小島正徳委員→小山明委員

25 市立病院運営協議会 鶴嶺東地区 熊澤繁雄委員→松本楯臣委員

26 青少年問題協議会 湘北地区 永野盛芳委員→未定

#### ② ホームページ管理運営チーム会議について

委員が変わった小和田地区は雫石剛委員に浜須賀地区は小嶋政雄委員、湘北地区については、小野寺昌成委員が選任された。定例会後に第1回会議を開催することになった。

また平成30年度第3回ホームページ管理運営チーム会議の報告が資料に基づき海岸地区真野チームリーダーよりあった。

#### ③ 会報誌「まちぢから」第4号の発行について

事務局より本年度会報誌内容及び予定について説明した。

ア 第3号についても、第2号と同じように8月15日号の広報紙折込みの形で発行したい。

イ 定例会後に編集会議を開催したい。昨年度は発行までに、4回の編集会議を開催している。

ウ 第3号については、会長と市長のあいさつ、各地区のまちぢから協議会の

活動状況の記事、特集、記念写真それから編集後記そういうレイアウトであった。今年度についてどうするか、定例会後に会議を開催し確認する。

編集委員については、HP委員が編集会議委員を兼務することを確認した。

第1回編集会議は、定例会終了後に開催することになった。

④ 令和元年度6月8日開催「情報交換会」について

事務局及び市民自治推進課長より、資料に基づき説明した。

⑤ まちぢから協議会連絡会新旧委員懇談会（案）について

事務局より、資料に基づき説明した。

⑤ その他

ア 情報交換について

(ア) 小出地区より資料に基づき情報提供があった。小出小学校は、あと3年たちますと、2022年ですね。創立150周年を迎えます。小出まちぢから協議会としまして、小出小学校創立150周年記念部会を立ち上げました。今から70年前、昭和23年に旧小出村の村民が2年がかりで、特産品のサツマイモを売って23万円が集まりました。そのお金で新しいピアノを購入して、小出小学校に寄付をしました。それが老朽化して廃棄される寸前だったんですが、たまたま校長室に保管されてあった。ちょうど2年前の卒業式の当日に校長室に来賓が集まった時に、このピアノが話題になりまして、何とかこれを修復できないですかねという話をいただきました。まちぢから協議会でそれをピックアップして役員会に諮って、部会のなかで住民から100万円の基金の募集をしようと決めました。そうしましたら、半年ぐらいで約80万円が集まりまして、いくつか見積もりを取ってピアノ専門の修理業者に約70万円で発注しました。それで幸いにも社長の肝いりで半年で修復が終わったんです。今年は147年の創立記念日が5月の6日連休の最後の日だったので、それに合わせまして、寄付していただいた方、それから市長さんはじめ議長さん、市の関係者をお呼びして披露の会を行いました。大変感動的でした。地域の住民、小学生も含めて約272名の参加者がありました。みんな感動して涙で聞きました。それから今現在の基金の状況なんですが、最終的に3月末現在で125万円が集まりました。ピアノの修復の費用が80万円ですので残金40万円ありましてこれを今後の保存の基金にしようということにしています。今度小出地区に資料館ができますので、そこにこれを保存してもらいたいとの運動もしようとしています。詳しくは小冊子の中に書かれてありますのでご覧ください。

(イ) 小和田地区新倉委員から話があった。この日程表なんですが、実はこの上の欄をみていただくと、連合会から始まっています。なんでこうなってるかという、実はまちぢから協議会が始まる前から地域でいろんな団体が、いろんな日程を組むんですが、それぞれの団体が何をしてるかという認識をきちんとしておいてほしいということで、まず連合会時代に作り始めた表でその流れで

表を構成しているということで、まちぢから協議会を連合会の次に置いているわけではございません。趣旨としては、いわゆる地域全体の行事といってもですね、まちぢから協議会の行事を優先する。小和田の場合は体育振興会が松林地区と共同でやっていますので、まずは地区をまたがって、しかも半世紀以上続いているような日程をまず優先をなさいよという趣旨です。いわゆる私の自治会はこの日程で決めたんだという前にまず地区全体で皆さんがなにをやっているかを認識してほしいという趣旨でこれを作っています。中身については別に注文を付けているわけではなくて、各自治会でそれぞれの日程を出してくれということで作っておりますので、それだけ説明をさせていただきます。

イ その他

(ア) 「避難行動要支援者支援制度」 新任自治会長説明会の開催について  
市民自治推進課長より資料に基づき説明があった。

(イ) 事務局より茅ヶ崎市と茅ヶ崎市障害者団体連絡会が共催で6月30日に市役所本庁舎1階市民プラザで行われる「障がい者を支援する人のために、また、障がい者自身が身を守るための防災訓練」の紹介を行った。

(4) 行政からの依頼事項等について

① 市立病院別棟オープンに伴う内覧会の開催について  
病院総務課長より、資料に基づき説明した。

(会長) 残念ながら今本棟の方の充実したことを、もっとPRしないともったいないなと思いました。何かを充実するとか、こういう計画をしてるとか、もっとPRしてもらいたい。

(答) 申し訳ありません。本館改修工事の内容ですが、今運用している内視鏡室は、非常にニーズが高くて予約が混んでいる状態です。その部分の拡充をいたします。また化学療法ということで、点滴ですね。今がん治療をがん治療指定病院ということで、力を入れて取り組んでいるところがございますけれども、こちらも拡充する予定でございます。またあわせまして2次の救急指定病院になっておりますので、救急エリアも拡充しまして機能を高めていきたいと思っております。

(問) 本館の改修工事の機関と費用はどれくらいかかるのか。

(答) 本年度夏ごろから着手しまして、約1年間、令和2年の夏8月9月の竣工を予定しております。31年度の当初予算に計上させていただいておりますが、約4億300万円でございます。

(問) 今、2階に障害者団体が売店を運営していますが、今度コンビニエンスストアができると、廃止をするんですか。

(答) 今後も継続して運営をさせていただく予定でございます。

(問) このような説明の時には全体の配置図を持ってきてもらいたい。図面とこういう形になるんですよという説明が足りない。

(答) 申し訳ありません。次回から気を付けます。

② (仮) 仮設庁舎跡地活用事業について

施設再編整備課長より、資料に基づき説明した。

主な質疑は次のとおり。

(問) 借地権の金額はどのくらいですか。

(答) 年額になりますが、約1, 779. 71㎡で3, 360万円になります。

(問) この市役所の近所にレストランがなくて、ここにレストランが入るのかなかと期待してたんですが、そういう注文をつけられないんですか。

(答) 基本4社の応募がありまして、レストランを入れる提案もありましたが、本提案はホテルで客室が304室あって、1階には市民のみなさまにご利用いただけるギャラリーを設置し、また会議室もあります。レストランの設置に関しましては、大きさ設備等、費用もかなりかかるものですので、これからのご要望は厳しいのかなと思います。

(会長) さきほど土地の借地の金額はわかったんだけど、税金はどのくらいを見込んでるんですか。

(答) 1年間ですと1, 525万1千円を見込んでございます。

(問) 今の説明で工事期間が令和3年になってるんですが、それまでは公園の方も含めて時間がかかるんですか。公園だけでも先に作って開放してもいいんじゃないですか。

(答) 説明の方が不足しておりました。2年半というのは、合計でございましてお話の通り、広場の方は来年の6月には供用開始いたしますので、広場部分と国道一号線の地下道からも市役所の東側玄関に入ることができるようになります。その後ホテルの工事が着工されるということです。

(問) さきほどの病院の話もそうなんだけれども、イメージがわからないんですよ。この場所に広場整備して前に公園もあるし、いい空間ができるわけですよね。指摘があったように落ち着いてご飯食べられる場所もないわけです。確かに前の庁舎は耐震力がなくてだめだったかもしれないけれども、でも食堂はあった。みんなとつばらっちゃってホテルっていうからホテルだったらお茶も飲めるだろうし、レストランもあるだろうと。つい想像しちゃうわけです。ホテルというけど要は泊ませるだけ、カプセルホテルに毛が生えたようなのをここに建てる気なんですかと。なんか夢がわいてこないんですよ。審査をいろいろして点数付けてそこがいいよということは、設計は今これからやってるのかもしれないけれども、概要はこんな風にしたいんだよということで、審査を通ったというのがあるはずじゃないですか。そのくらいこういう場に出してもいいんじゃないですか。

(答) ご指摘の部分は真摯に受け止めたいと思います。現在私共この場で、皆様にイメージしていただきやすいものとか、こういうものですよとかを提供することも考えたんですが、今の状態がまだ契約前なんです。基本的な考え方をお示ししていただいたので、今の段階から設計を経て竣工に至るまで、まだ内容が変わる可能性があるんで、今それをお示ししてしまうと、最初と違うんじゃないかとか、さまざまご意見をいただく可能性がございますので、現時点ではこれとどめさせていただいて、もう少し具体的に皆様にお伝えできるものができましたら、また機会をいただいでご説明を

させていただきたいと思います。

③ ホストタウンの登録及びリトアニアのテストキャンプについて

スポーツ推進課長より、資料に基づき説明した。

主な質疑は、次のとおり。

(問) 茅ヶ崎市が北マケドニア共和国のホストタウンになった経過を説明してください。

(答) 神奈川県あてに北マケドニア共和国の方から、神奈川県内の市町村とホストタウンの締結を結びたいという話がありました。今まで茅ヶ崎市と北マケドニア共和国はあまり縁がなかったというのが正直なところですが、出会いということで相手国からのお話を受けて県からの照会があって、こういったことをきっかけにオリンピックの機運を高めていきたいという市の思いもございまして、ホストタウンの締結となったものです。

(問) 神奈川県の中ではどんな国がホストタウンになっているのか。

(答) 県、小田原、箱根、大磯がエリトリア、ブータン、ミャンマー、横浜につきましては、英国、チュニジア、イスラエル、ペナン、オツアナ、コートジボワール、川崎はイギリス、平塚市と県がリトアニア共和国、厚木市がニュージーランド、小田原市がモルジブ共和国、葉山町もイギリス、相模原市がブラジル連邦共和国、カナダ、鎌倉市がフランス、逗子がスペインとなっています。

(会長) 大きな国はお金がかかるということもあるようです。

④ 全国瞬時警報システムの全国一斉情報伝達試験の実施について

防災対策課長より、資料に基づき説明した。

⑤ 防災リーダーの防寒着及びベストデザインの更新について

防災対策課長より、資料に基づき説明した。

主な質疑は、次のとおり。

(会長) いままでのもので在庫はどのくらいあるんですか。

(答) それぞれ50くらいはあります。

(会長) その使い道は

(答) 今想定しているのは、新しい方にも綿タイプのものでいいとか、古いものでいいとかいらっしゃるかもしれませんが、希望を聞きながら貸与していきたい。

(会長) 一つの提案として自治会とか自主防災組織の役員に防災リーダーの研修を受けていない方もいるんですが、そういう方に貸与していただくのはどうですか。検討してください。

(問) 防災リーダーの再受講、最初からもう10年くらい経っていて教える内容も変わってきてるので、再受講も受け付けるんですよね。再受講した時はそれもらえるんですか。前は防災リーダーの再研修みたいのがありましたよね。このところないですね。

(問) 関連の質問なんですけれども、私もこの研修を受けて10年近く経って、知識も含めて消えつつあるんですけれども、制度ができた時にしばらくしたらフォローアップ研修があったと思うんですが、一度受けたことがあるんですが、そのあとはないと思うんですが、今言われたように訓練の内容も変わってますので、新しく防災リーダー

ーを養成することも大事だけれども、すでに防災リーダーになっている人の質を維持することを考えたら、フォローアップ研修を継続してやった方がいいと思うんですけども、どうでしょうか。

(答) 再受講につきましては、お伝えしているの内容も変わってきてますので、2日間なので、ご負担をおかけしてしまう部分はあるんですが、差し支えなければご参加いただければと考えております。私共も過去のテキストなども見直していただきたいどのくらいのタイミングで受けていただくのがいいのか検討させていただきます。貸与する被服につきましても、検討させていただきます。フォローアップ研修の関係ですが、過去に受けていただいた方に市の方から通知を差し上げてフォローアップをさせていただいていたんですが、現在2000名を超える方々に受けていただくのが大変難しい状況になっておまして、各地区で防災訓練をやっていたく前に、当日訓練指導していただく方々に集まっていただいてそこで実技や振り返りなどをさせていただいております。また地区によっては、防災リーダーが集まる会などを設置していただいて、そこにわれわれが最近のお伝えすべき内容であったりとか、実技の訓練なども含めて研修という形でやらせていただいておりますので、申し訳ないですが地区ごとに対応させていただきたいと考えております。

⑥ 災害対策地区防災拠点打合せ会の日程について

防災対策課長より、資料に基づいて説明した。

(問) 南湖地区の場合、5月の31日に西浜小学校で開催になってますが、実は南湖地区はJRを挟んで、北と南に分かれてまして北側の国道沿いの茶屋町、鳥井戸の一部は梅田小学校に通学してます。現実的な災害の時もJRをまたいで西浜小学校まで逃げると言うのは、あまり考えられない。できればこの一部の地区の人は梅田小学校へ参加してもらって配備職員とかとの交流ができたならなあと考えているんですけども可能なんでしょうか。

(答) そのようにご対応していただければと思います。そのつもりで準備をしたいと思えます。

(問) 鶴嶺東地区ですが、鶴嶺小学校だけではなく浜之郷小学校、円蔵小学校などがありますので、実態に応じた拠点での打合せが望ましいと思います。

(会長) 今の件は防災対策課と個別に調整していただければと思います。

(問) 前に小出地区の防災部会では、小出小学校が避難所になっているので、施設管理者の校長と防災部会との懇談会を行いました。そうしましたら、いざ災害の時に皆さんが避難してきても、学校のトイレは使わせません、って校長先生が言われたんですね。よくよく考えてみれば学校の校長先生は災害が起きた時は、一時的に避難所として開放するんですけども、1日も早く学童を教育に復帰させるという役目を持っているんだそうです。たまたま小出地区の場合は下水道は完備されず、浄化槽なんです。当然水も止まっていますから、トイレが使われたら汚物の山になってしまいます。そういうことで校長の言っているのはもっともだと。たまたま私は藤沢市と茅ヶ崎市の市境に住んでいますんで、藤沢市の滝の沢小学校も避難場所になってるんですよ。滝の沢小

学校の場合、体育館の裏に堅穴式の防災用トイレがあるんです。当然汲み取り式です。前にぜひ小出小学校の体育館の裏にこのようなトイレを作ってくれと防災対策課にお願いしていたんですが、その辺の答えを今度持ってきてほしいんです。

(答) それにつきましては、個別にこの打合せ会なのか、時間を置かずにお話をさせていただければと思います。

(問) 出席依頼者という欄があって防災リーダーとかにわれわれが文書を作って伝達してくれという意味なんですか。われわれは30名と言われているので、その人数で割り振らなきゃいけないんですね。できれば通知のサンプルなどを作ってくればありがたい。

(会長) 今週土日ぐらいに各地区で定例会があるところが多いので、間に合うように作ってください。何とか金曜日くらいまでに何とかお願いします。

(答) わかりました。通知文のサンプルを作らせていただきます。

⑦ 地区防災訓練の日程について

防災対策課長より、資料に基づき説明した。

⑧ 水害に関する今年度の取組について

防災対策課長より、資料に基づき説明した。

(問) 私に地区は全部水に浸かるような地域で、昨年、防災訓練でマイタイムラインの勉強会等をやりまして、今年各自治会でやろうということで、このマイタイムラインの用紙をカラーコピーで全戸配布しようということで1枚4円で印刷が可能でした。そういう意味でこの印刷代なんかも含めて防災資器材の補助金で対応できますか。たいした金額ではないんですけども。

(答) 申請いただければと思います。

(問) 市から積極的に動いていただけるのは非常にありがたいですし、マイタイムラインの情報ですとか、皆さんに伝えていくと一番最初に避難しなければならないご老人たち、その人たちがいかに情報を早く的確に捉えるか、携帯電話も電話することしか知らないような方たちにいかに市からの情報が、いかにインフラが整備されても受け取る側がそれを使いこなせない、そういう問題が私どもの地域の質問事項にありました。いかにその方たちがその情報をとれるように、自分たちが持っているものの中で、いかに情報をとるか、そういう意識になっているうちにぜひ市からいろいろな情報の伝達の方法を考えていただいて、それを私どもの方におろしていただけると、皆さん今聞く耳を立てていると言っちゃおかしいかもしれませんが、いろんなところで水害が起きてますから、情報を伝えるというところにも着目して取り組んでいただきたいなと思っております。

(答) 昨年度の西日本豪雨の報道等を受けて、特に相模川沿岸に住まわれている方々を中心にそういった水害に対する危機意識が高まっていると思います。まさにこういう機会を捉えて、いろんな市からの情報伝達、実際の避難行動につながるような取り組みの支援をしていかなければいけない。情報伝達手段としては防災ラジオが高齢の方々には使いやすいということで、買っていく方はほとんど高齢の方です。自己負担が生

じてしまいますが、それが一番簡単で、何もしなくても自動的に流れてくるのでいい  
と思っています。それ以外にもいろいろ方法がありますので、地域におじゃました時  
とか、機会を捉えてお話をさせていただければと思います。

(会長) 私は1月にNHKで取材がきてテレビに出させていただきます。防災ラジオの  
話をしたので、そのあと防災ラジオを購入する方が何人かいられたそうです。確かに  
台風だとか大雨の時には外の防災無線は全然聞こえないという問題があるので、防災  
ラジオだとかいろいろなものに関心を持って、特に湘南地区とか鶴嶺西地区は非常に  
危険性が高いので、大事だと思います。

(問) このシートにも緊急メールっていうのが書いてあるんですよ。それをどうやったら  
とれるのっていう質問が単純にあります。

(答) 緊急メールは各携帯電話会社が強制的にメールを送るもので、設定をしなくてもみ  
なさんに送られます。ただそのメールの見方は普通のメールと同じだと思うので、そ  
れだけは習得していただかなければならないです。

(問) 何かの作業をしなければ緊急メールは見れないんですね。

(答) 登録自体はしなくても見れますが、通常のお友達とのメールが見れば見れます。

(会長) あと各自治会を含めて防災対策課の担当者を呼んで話し合いをしていただいて、  
災害時に被害にあわないようにしていきたいと思います。

- ⑨ 寒川町との消防の広域化の概要について  
消防次長より、資料に基づき説明があった。

(5) 閉会の言葉 植松副会長